

ぼうさいこくたい 2024 でセッション「現場から考えるインクルーシブ防災」を開催しました (2024/10/19)

テーマ：インクルーシブ防災
場 所：熊本城ホール（熊本県熊本市）

10月19日（土）～20日（日）の2日間、熊本市内を会場に「ぼうさいこくたい2024」が開催され、当研究所ではセッション「現場から考える実践的なインクルーシブ防災～インクルーシブ防災って？ 現状は？ これからは？～」を開催しました。同セッションのテーマは「インクルーシブ防災」です。インクルーシブ防災は、障がい者や高齢者、医療的ケア児・者、妊婦、子ども、外国人等を含む、あらゆる人を取り残さない防災という考え方です。当研究所では、2024年に所内に「インクルーシブ防災学分野」を発足させ、関連する研究を本格始動しています。本セッションでは、インクルーシブ防災における先端的な取り組みを基調講演にて共有し、当事者・支援者を交えたパネルディスカッションを行いました。会場参加は102名、オンライン参加は51名と大変多くの参加をいただき盛会となりました。セッションの様子は、後日アーカイブ映像が配信される予定です。

○ 基調講演

「誰一人取り残さない防災を目指して」

立木 茂雄（同志社大学社会学部 教授）

○ パネルディスカッション

「インクルーシブ防災って？ 現状は？ これからは？」

コーディネーター：

栗山 進一（東北大学災害科学国際研究所 所長・教授）

パネリスト：

平野 みどり（DPI日本会議 議長）（身体障害、当事者/支援者）

緒方 健一（おがた小児科・内科 院長）（医療的ケア児、支援者）

椎太 信（LGBTQ+、当事者）

村野 淳子（別府市企画戦略部政策企画課 防災総合連携官）（防災福祉行政、支援者）

佐藤 健（東北大学災害科学国際研究所 教授）（地域防災）

指定討論者：

高橋 桃子（医療的ケア児・者、当事者）、高橋 実和子（ご家族）

総合司会：佐藤 翔輔（東北大学災害科学国際研究所 准教授）

文責：佐藤翔輔、丸谷浩明（防災社会推進分野）

（次頁へつづく）



会場の様子



同志社大学・立木茂雄教授による基調講演



パネルディスカッションのコーディネーター
をつとめた栗山進一 所長・教授



パネルディスカッションの様子



パネリストの
別府市・村野淳子 防災総合連携官



パネリストの
DPI 日本会議の平野みどり 議長



パネリストの
おがた小児科・内科 緒方健一 院長



指定討論者の
高橋実和子氏、高橋桃子氏



パネリストの佐藤健教授